

## Catch the eye 2014年5月

2014/5/1  
(木)

真因は？



今日から5月、晴天、新緑が目をはく。まもなく立夏、首にまいたスカーフも暑苦しく映りそうで、トップの写真を変更。やはり季節感も大事。大事と書いて、「おおごと」となると、「平常と変った重大な事から、大事件」。大手旅行会社の若い社員が起こした「おおごと」。『手配していると思込んでいた』というのは、自分のことなのか、それとも一緒に担当していたアシスタントのことなのか。たぶん前者だろうけど、そうなることこれまでの仕事ぶりにも問題があったのではないか。気づいている人はいたけど、声に出さなかった、ということも考えられる。さて、真因は？

2014/5/3  
(土)

連休後半入り



大型連休後半、空いた地下鉄車内は観光客が目立つ。USJの新アトラクションとグランフロント1周年効果で京阪神への旅行者が多いそう。すぐそばだけどグランフロント館内にはほとんど足をふみいれていない。近いところなもの。足元より遠くに目にいく。実際同じような催しも中身は土地によって相当に異なる。最近一番それを感じたのは自由大学と名のつく組織のプログラム。東京と大阪の違いはまるで別世界。『灯台下暗し』と知りつつ、『隣の花は赤い』。

2014/5/7  
(水)

うつぼ公園



連休明け、晴天。立夏もすぎ、朝4時半ごろには明るくなり始める。歩くには絶好の時季。いち時はスニーカーを持ち運びして、歩いていたのに、最近のはめっくり。運動不足も目にみえてきて、これから歩く回数を増やそうと昨日は事務所からうつぼ公園まで歩く。休日はむしろ人の多かつたうつぼ公園周辺。北に南に新しい商業施設ができたせいか、寂れた感じが否めない。でも地元の人には歓迎のはず。大阪には数少ない都会のオアシス。

2014/5/9  
(金)

薫風五月

薫風五月、にわか雨が新緑を香りただせ、十日月が夜空真上に見えた。あー、いい季節だ！と声をあげたのは昨夜。この季節、夕から夜にかけての時間がいい。そのまま家路につきたくない。街の雑踏もキラキラと見せるこの季節の、若々しく、清々しい空気を存分にとりこむことで、梅雨から夏も前向きに受けとめ、すごせるのではないかと、これは寄り道をする都合のよい理由づけ？

2014/5/12  
(月)

木にカエル

徐々に曇り空。午後から雨の予報。そのせいか、カエルの姿を発見。グランフロントの北庭、木々を眺めながら散歩道をとおりすぎている時、太い幹に薄緑の小さな面。それがカエルだった。背後からカメラをむけて2度シャッター。気づいてどこかへ跳ねていくかと思ったけど、じっとしている。アマガエルは木にも登るらしい。鳴くまでにはもっと大きくなないとダメのようで、声を聞くのは来月。梅雨もそろそろ視野。

2014/5/14  
(水)

「おいしい」

昨日から一転、雲がひろがってきた。夜には雨になるらしい。今夜は満月だから惜しい。と書いて、満月に「惜」の字がちょっと違和感。辞書をひらいてみる。すると「おいしい」は、「惜しい・愛しい」。そう、「愛しい」の方がいい。パソコンに辞書が入っているから、すぐに調べられる。あらためて「愛しい」で検索してみると、「おいしい」以外に3つ出てきた。「美しい・愛しい」、「麗しい・美しい・愛しい」、「悲しい・哀しい・愛しい」。今さらながらに感心、愛は何かを思う全てに通ず。

2014/5/16  
(金)

人々の光景



昨日に続き気温は低め、空は徐々に晴れて、午後からは暑くなりそう。今朝の地下鉄、私立の制服を着た太めの小学生が座席を陣取り、ノートを広げ三角定規で何かを書いていた。左脇には教科書を広げ、時々それを見てまたノートに何か書いている。どうやら、算数の宿題らしい。昨夜のうちにやらないで、どうしたの。そういえば似たような光景を最近見た。中津駅近くのビルの前、スーツ姿の若い男性がしゃがみこんで書類に何かしている。みると、履歴書のようなものだ。これから面接という段になって書いたことが気になったのか、学歴・経歴の行を消している。消せるということは鉛筆？まさか、消せるボールペンだろうけど、そんなあたふたしてどうするの、と通り過ぎた。一昨夕はこれまた、なんというか、感心する光景に遭遇。仕事のひけた中年サラリーマンらしき3人が、済生会病院の軒下にしゃがみこんで談笑していた、路面に缶ビールをおいて。逞しくも哀感漂う仕事帰りの一杯。街なかに人々の人生の一端。

2014/5/22  
(木)

言葉

朝一番は晴天だったのに、その後は晴れたり曇ったり。昨日同様、風は少しひんやり、すごしやすい。「小満」も過ぎ、すでに5月も下旬、いやはや。月曜からの4日分の新聞をまとめて読む。19日の小学館の辞典の広告が目をひく。「社長」とは？と、いろんな会社の社長に尋ねて、回答が載せてある。中でも大きく表示されたのは、社長とは、『最高の矛であり、最高の盾である』。ほおーと感心してしまった。他には矛となり盾となるが、自らには矛盾をはらんでいる。単に教養というだけでなく、人の器を感じさせる。言葉は精神を表す記号、何ともおそろしい。

2014/5/26  
(月)

本番

お昼にかけパラパラ降っていた雨が本降りになってきた。アジサイが咲き始めた。5月最終週の始まり、朝一番に電話が鳴った。東京から訪ね人、鳥取智頭町からの帰りなんだとか。智頭町？話を聞けば思いがけない出会いが重なり出かけることにしたのだとか。いつもながら、その直感力と行動力に敬服。午後に訪ねてきたのは元受講者の3人。4人はいずれも女性、『女性の生産性のピークは45歳から65歳』を地でいくように、内に秘めた才がこれから日の目をみるよう。女性の人生は後半こそ本番？

2014/5/28  
(水)

肌センサー



朝からよく晴れている。今日は30度近くまで気温が上がるらしい。暑さや汗に肌をならしておかなければ。『皮膚は考える』に書いてあった、皮膚には脳細胞と同じ細胞があると。軽く運動しつつ、よく言い聞かせておこう、自分の肌に。疲れをとるのに、窓をあけて外の空気をいれるだけでも効果が高いと先日テレビでやっていた。ゆらぎの効果。これも肌に働きかけるものだと思う。体の中もいろいろなものがめぐっているから、肌がセンサーになって、めぐりをよくするのではないか。肌の状態をよく保つのは、健康の面でけっこう大事。

2014/5/31  
(土)

「いき」のリレー

真夏日一歩手前。さすがに一昨日から当ビルもクーラーが入りだした。はや6月・・・、5月中ののメインテーマには少々苦慮したまま終盤にきてしまった。時間作業でかたづくものではないから、思考作業を繰り返しては、立ちどまり、時間がすぎていった。こういう時は、いったん頭を開放することが必要。一番の方法は、いろんな角度から意見を言ってくれる人と話す。日頃はほとんど接点のない、フィールドの異なる人がベター。ただし価値観は共有、共感し合うことは原則。飾り気のない時に厳しい声。そのベースにある厚意。それこそ「いき」というのではないか。次は自分が人へ。『朝のリレー』ならぬ、「いき」のリレー。

